

須崎市藻場復活プロジェクト

申請対象期間に実施した活動の概要

参考：池ノ浦地区におけるウニ類、海藻類の事前調査および追跡調査の全体像

藻場資源の維持・回復を図る須崎市浦ノ内福良（以下池ノ浦地区）において、ウニ類、海藻類の事前調査及び追跡調査を実施している。モニタリングについては磯焼け対策区で実施しており、ウニ駆除についても同様に磯焼け対策区で実施している。対策区の面積については計 12,100 m²（平成 21～令和 5 年度対策区は約 7,200 m²、平成 25 年度対策区は約 4,900 m²）となっている。以下図は対策区の位置図となっている。

【池ノ浦地区】



【モニタリング地点】

モニタリング地点は平成 21～令和 5 年度対策区内に 9 地点と対照地点として対策区外に 1 地点（No.10）を設定している。

各地点の座標を下記に示す。

区	平成21～令和6年度対策区	
項目	No.	座標
N	4	33° 24'37.14"
E		133° 25'13.90"
N	5	33° 24'37.31"
E		133° 25'14.95"
N	6	33° 24'37.50"
E		133° 25'15.99"
N	7	33° 24'38.10"
E		133° 25'14.32"
N	8	33° 24'38.58"
E		133° 25'14.92"
N	9	33° 24'38.90"
E		133° 25'15.51"
N	10	33° 24'39.81"
E		133° 25'15.31"



2 磯焼け対策に係る活動

今回プロジェクト期間とする 2020 年 1 月からの磯焼け対策に係る活動として、各年の活動について以下の通り記載する。

① 2020 の藻場保全活動

池ノ浦地区での令和 2 年の磯焼け対策に係る活動を表 1 に示した。

以下、対策項目の主な内容について述べる。

年	月日	項目	参加人員				
			地区民		須崎市	エコシステム	
			船上他	潜水		船上他	潜水
R.2	1月16日	モニタリング(ウニ類除去区)					2
	1月21日	ウニ類除去	6	1		1	1
	2月4日	ウニ類除去	8				
	2月6日	ウニ類除去	8				
	2月10日	ウニ類除去	10				
	3月12日	モニタリング(ウニ類除去区)					2
	6月30日	協議会	31		2	2	
	8月6日	モニタリング(ウニ除去区)					2

(1) ウニ類除去

ウニ類除去は、平成 21 年度から対策を継続している区域で行った。

1～2 月のウニ類除去は 1 月 21 日、2 月 4・6・10 日の 4 回実施した。除去は、船上及びスキューバ潜水によって実施し、延べ参加者は 35 人であった。除去したウニ類は約 2,500 個であった。



ウニ類除去の参加者
(令和 2 年 1 月 21 日)



ウニ類除去の状況
(船上からの除去)



ウニ類除去の状況
(スキューバ潜水による除去)

(2) 協議会

協議会は令和2年6月30日に支所会議室で地区民他35名の参加を得て行った。

会議は、令和元年度までの結果について報告し、その後令和2年度の磯焼け対策について話し合いを行った。

報告された内容は下記の通りであった。

- 令和元年度の磯焼け対策活動の実施状況。
- 平成21年度から対策を行っている区域の岸域ではホンダワラ類が継続して高被度で生育している。
- 岸域・中域に生息するウニ類は、継続的に除去作業をすることにより増加が抑制されている。

対策については以下の形となる。

●ウニ類の除去

素潜りによる除去も6～7月の間に時間がとれるなら行う。

対策は平成21年から継続している区画で行う。

●母藻の設置

行えるのであれば実施する。

●港内清掃

台風などにより漂流物が集積した時に行う。海藻以外で行う場合は、須崎市と連絡を取り合い決定する。

なお、上記対策の中で母藻の設置と港内清掃は実施しなかった。



令和元年度の報告を聞く参加者

② 2021 の藻場保全活動

池ノ浦地区での令和3年の磯焼け対策に係る活動を表1に示した。

年	月日	項目	参加人員					計
			地区民		須崎市	エコシステム		
			船上他	潜水		船上他	潜水	
R.3	1月18日	ウニ除去	12	1			1	14
	1月19日	ウニ除去	13	1				14
	1月20日	ウニ除去	12					12
	1月21日	ウニ除去	11					11
	3月16日	モニタリング(ウニ除去区)					2	2
R.3	5月27日	協議会	26		2	2		30
	6月18日	アワビ放流	4				2	6
	11月6日	アワビ追跡					2	2

(1) ウニ類除去

ウニ類除去は、平成21年度から対策を継続している区域で行った。

1～2月中に計画していたウニ類除去は1月18～21日の4回実施した。除去は、船上及びスキューバ潜水によって実施し、延べ参加者は51人であった。除去したウニ類は約1,650個で、昨年度の約2,500個と比べ減少した。この要因として、船上から除去を行っている浅い海域にウニが少なくなったことや、岩盤上にウニがあまり出ていなかった事が考えられた。



ウニ類除去の参加者
(令和3年1月18日)



ウニ類除去の状況
(船上からの除去)
(令和3年1月18日)



ウニ類除去の状況
(スキューバ潜水による除去)
(令和3年1月18日)

(2) 協議会

協議会は令和3年5月27日に支所会議室で地区民他30名の参加を得て行った。

会議は、令和2年度までの結果について報告し、その後令和3年度の磯焼け対策について話し合いを行った。

報告された内容は下記の通りであった。

●令和2年度の磯焼け対策活動の実施状況。

●平成21年度から対策を行っている区域の岸域ではホンダワラ類が継続して高被度で生育している。

●岸域・中域に生息するウニ類は、継続的に除去作業をすることにより増加が抑制されている。

その後、本年度の対策について話し合いが持たれ、以下の対策を行うことを決定した。

●ウニ類の除去

例年通りの船上・立ち込みによる除去を1～2月中に行う。

対策は平成21年から継続している区画で行う。

●母藻の設置

行えるのであれば実施する。

●港内清掃

台風などにより漂流物が集積した時に行う。海藻以外で行う場合は、須崎市と連絡を取り合い決定する。なお、上記対策の中で母藻の設置と港内清掃は実施しなかった。



令和2年度の報告を聞く参加者

③ 2022 の藻場保全活動

池ノ浦地区での令和4年の磯焼け対策に係る活動を表1に示した。

年	月日	項目		参加人員					
				地区民		須崎市	エコシステム		計
				船上他	潜水		船上他	潜水	
R.4	1月14日	モニタリング						2	2
	1月20日	ウニ除去		10	1			1	12
	1月21日	ウニ除去		12					12
	1月22日	ウニ除去		9	1			1	11
	1月28日	ウニ除去		9	1			2	12
	1月31日	ウニ除去		8					8
	2月24日	モニタリング						2	2
R.4	6月3日	アワビ放流		3			1	1	5
	6月8日	協議会		20		2	1		23

ウニ類除去は1月20～22・28・31日の5回実施した。ウニ類除去は、船上及びスキューバ潜水によって実施し、延べ参加者は55人であった。除去したウニ類は約7,200個で、昨年度の約1,650個と比べ大きく増加した。これは、本年度はダイバーが多く参加したことに起因する。



ウニ類除去の参加者
(令和4年1月28日)



ウニ類除去の状況
(船上からの除去)
(令和4年1月28日)



ウニ類除去の状況
(スキューバ潜水による除去)
(令和4年1月28日)

④ 2023 の藻場保全活動

池ノ浦地区での令和5年の磯焼け対策に係る活動を表1に示した。

年	月日	項目	参加人員					
			地区民		須崎市	エコシステム		計
			船上他	潜水		船上他	潜水	
R.5	1月11日	モニタリング					2	2
	1月20日	ウニ除去	8			1		9
	1月21日	ウニ除去	8			1		9
	1月30日	ウニ除去	9			1	1	11
	1月31日	ウニ除去	8					8
	2月1日	ウニ除去	8			1		9
	2月20日	モニタリング					2	2
R.5	6月26日	協議会	26		2	2		30
	12月25日	モニタリング					2	2

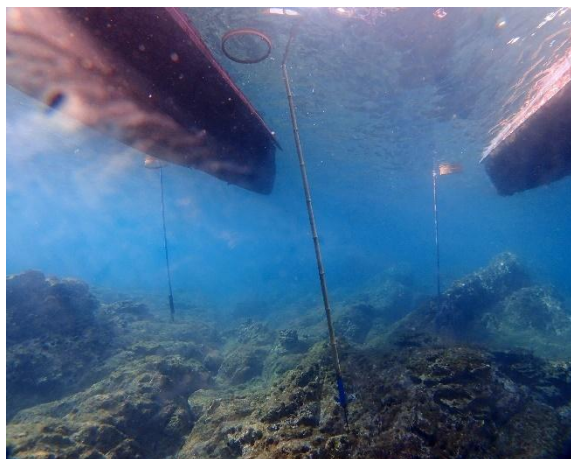
(1) ウニ類除去

ウニ類除去は、令和5年1月20・21・30・31日と2月1日に平成21年度から対策を継続している区域で行った。

作業は、船上及びスキューバ潜水によって実施し、延べ参加者は46人、除去したウニ類は約2,800個であった。本年度のウニ類除去数は、昨年度(約7,200個)と比べ減少したが、これはスキューバ潜水を行う者が少なかったことが影響している。



ウニ類除去の参加者
(令和 5 年 1 月 30 日)



ウニ類除去の状況
(令和 5 年 1 月 30 日)

(2) 協議会

協議会は令和 5 年 6 月 26 日に支所会議室で地区民他 30 名の参加を得て行った。

会議は、令和 4 年度までの結果について報告し、その後令和 5 年度の磯焼け対策について話し合いを行った。

会議で行った報告及び本年度の対策について協議された内容は以下の通りである。

●報告内容

- ・平成 21 年度から対策を行っている区域の岸域ではホンダワラ類が継続して高被度で生育している。
- ・岸域・中域に生息するウニ類は、継続的に除去作業をすることにより増加が抑制されている。
- ・メガイアワビは、放流後モニタリングにて 1 個体確認し、順調に成長していることが伺えた。

●本年度の対策内容

- ・対策は平成 21 年から継続している区画で行う。



令和 4 年度の報告を聞く参加者

⑤ 2024 の藻場保全活動

池ノ浦地区での令和 6 年の磯焼け対策に係る活動を表 1 に示した。

年	月日	項目	参加人員				
			地区民 船上他	須崎市	エコシステム		計
					船上他	潜水	
R.6	1月15日	ウニ除去	8	2	1		11
	1月16日	ウニ除去	7		1		8
	1月17日	ウニ除去	6		1		7
	1月29日	ウニ除去	10				10
	2月12日	モニタリング				2	2

(1)ウニ類除去

ウニ類除去は、令和 6 年 1 月 15・16・17・29 日に平成 21 年度から対策を継続している区域で行った。作業は、船上から実施し、延べ参加者は 36 人、除去したウニ類は約 1,000 個であった。

ウニ類除去数は、昨年度（約 2,800 個）と比べ減少したが、これはスクーバ潜水による作業を行わなかったことに起因する。



ウニ類除去の状況
(令和 6 年 1 月 16 日)